

ごあいさつ

北海道教育大学函館校は、2014年度に国際地域学科(1学科制)に再編されました。この学科は「国際的な視野と教育的なマインドを持って**地域振興を担う人材を養成**」することを目的とし、「広い意味での教育を基軸としつつ国際的な視野から**地域の諸課題解決を志向する総合的知としての地域学を中心に学ぶ**」カリキュラムを設定しています。そうした趣旨の学科においては、従来よりも地域との協働を一層実質的に推進する必要があることは言うまでもありません。

わたしたち地域協働推進センターは、研究・教育を通し、本気で地域の課題解決に取り組む信念を持って、日々奮闘を続けております。まだまだ試行錯誤を重ねている段階のため行き届かない面も少なくないとは存じますが、一歩ずつ前進して参る所存ですので、ご教導およびご協力を賜れば幸甚です。

(地域協働推進センター長・齋藤征人)

SC巡回型サテライト・オフィスについて

【目的】

ソーシャルクリニック(SC)とは、地域課題の診療所のような存在をイメージした本校オリジナルの地学協働モデルの名称です。従来本学では、それぞれの教員が地域との間で結んできた個別のつながりに基づく取り組みを重ねてきた経緯も預り、協働先の地域は一部に限定されてきました。本学が、道南地域の皆様のお声を広く聞き取り、必要としてくださる地域と組織的に協働できるようにするために企画したのが、今回のSC巡回型サテライト・オフィスです。

【概要】

道南を5ブロック(渡島南部・北部、檜山南部・北部、函館近郊)に分け、各地域に年1回(以上)出向き、地域の課題やニーズを直接くみ上げるとともに、意見交換などを通じて、大学の知的資源を最大限に活かした取り組みや協働活動の可能性を具体的に探りたいと願っております。

北海道教育大学函館校

ソーシャルクリニック